

## 第4回中国・四国地区国立大学法人等技術職員代表者会議報告

機能材料系 西川 敏治

出張期間：平成23年3月10日～3月11日

出張先：広島大学（東広島市）

### 1. はじめに

第4回目となる代表者会議は、国立大学法人9校から18名、国立高等専門学校9校から13名の参加があった。昨年の岡山大学から今回は広島大学に開催地を移し開催されたので、その内容を報告する。

### 2. 報告事項

二日間にわたった会議は、一日目に「中・四国5機関の特長ある技術支援形態の現状報告」、二日目に定例の全体会議が行われた。

#### 2.1 技術支援形態の現状報告

「米子工業高等専門学校技術教育支援センター」

平成14年に、教育支援サービスの内容は変えないことを前提として組織化された。支援サービスは授業科目支援・技術支援のいずれも支援申込書を提出してもらい実施している。

「津山工業高等専門学校技術教育支援センター」

津山においても米子と同様に、授業支援・各種業務支援・各種工作物の加工・研究支援について依頼書を提出してもらい計画的に支援業務を行なっている。

「鳥取大学医学部技術部」

17名の職員が一つの居室に集まり、業務先に出かけている。教育支援・研究支援・共同研究等のすべての業務について申請書を出してもらい稟議の上で業務を行っている。

「広島大学技術センター」

業務依頼には定期申請と随時申請があり、申請を運営会議や業務調整委員会で検討後に、部門長→技術班長→技術職員へと指示が出される。

「徳島大学総合技術センター」

平成18年から、公平な支援を目的に業務依頼書による教育・研究支援を行ない、業務の種類によっては課金している。

#### 2.2 定例会議

前回の「第3回技術職員代表者会議」の議事要旨について、議長から説明があった。広島大学から「平成22年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修」について実施報告があった。

この技術職員研修の開催時期に併せて開催された「平成22年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会」について実施報告があり、パネルディスカッションの内容等が説明された。今後の組織マネジメント研究会は、継続して8月下旬の開催とした。

「中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験」HPに掲載する技術職員の呼称について「教育研究系技術職員」と表記することが報告された。

徳島大学から「平成23年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修」の実施要綱（案）と日程表（案）が提案され、これを了承した。（開催分野：土木・建築分野及び生物・生命分野）

向井議長の退任に伴い、次期議長は広島大学の勇木氏（技術センター技術統括）が推薦され了承された。